

伝統芸能保存伝承事業

高玉芝居定期公演

平成28年11月23日(水・祝)

午後1時開演(12時30分開場)



【高玉芝居】

西高玉地区に二百年以上伝承されてきた「高玉芝居」は、農民の力によって長い間支えられてきたという希有の存在理由が評価され、町の無形文化財に指定されています。

この高玉芝居は、屋代郷亀岡からの伝承と語り継がれており、演劇台本・浄瑠璃の多くが明治年間のものであります。「浄瑠璃」による「歌舞伎」からの時代の変遷とともに「浪曲」を取り入れた「浪曲連鎖劇」として今に受け継がれ、全国の地芝居の継承が途絶えていく中、創始者たちの息づかいが連続として伝承され多くの人がびとに愛され続けてきました。

◆いつ 平成28年11月23日(水) 祝日

◆どこで 午後1時開演(午後12時30分開場)

◆内容 さらの里文化伝承館(蚕桑地区コミュニティセンター) 舞踊・芝居・演目【松竹梅三兄弟 五月の仇討(完結編)】

◆入場券 前売券500円 当日券700円 中学生以下は無料

◆定員 280名 ※なるべく前売券をご購入ください。

◆お願い お酒の販売がありません。

◆主催 飲まれる方はお車での来場をご遠慮ください。

◆取扱い先 白鷹町教育委員会・蚕桑地区コミュニティセンター

◆問合せ 中央公民館、各地区コミュニティセンター

◆ 蚕桑地区コミュニティセンター 【電話0238-85-2153】